

郷土の偉人を道導とした小学校道徳教育における映像教材システムの開発

Development of a Tutoring System Using Images with the Great Persons of the Home District for a Moral Education in Elementary School

池本 有里^{*1}, 山本 耕司^{*1}, 鈴木 直美^{*1}, 近藤 明子^{*1}
 Yuri IKEMOTO^{*1}, Kohji YAMAMOTO^{*1}, Naomi SUZUKI^{*1}, Akiko Kondo^{*1}
^{*1} 四国大学
^{*1}Shikoku University
 Email: ikemoto@keiei.shikoku-u.ac.jp

あらまし：本稿では、子どもたちに伝えたい郷土（徳島）の偉人 10 名がそれぞれに成長過程で経験した苦悩や努力、強い意志などを生きる道導にする小学校道徳学習教材について述べている。これらは、動画と音声によるマルチメディア教材として作成している。教師は DVD で児童の興味をひきながら指導でき、またネットを通じて受信した部材を授業に活用できる教育システムとしている。

キーワード：小学校道徳教材，郷土（徳島）の偉人，教材 DVD

1. はじめに

筆者らは、「子どもたちに伝えたい郷土（徳島）の偉人」という題目で、偉人 10 名がそれぞれに成長過程で経験した苦悩や努力、強い意志などを、子どもたちの生きる道導にする小学校道徳教材を作成した。それは、どの教師も的確な授業展開ができるよう動画と音声によって構成し、ストーリー性のある鑑賞物としても楽しむことのできる特長を持つ。2 枚組の DVD に収録したこれら映像教材は、徳島県内の全小学校へと送付された。各校では AV 機器を用いてこれらを一様に教育することができる。また、各教員は必要に応じてネット上から教材コンテンツの一部を受信し、適宜大きく提示するなどによって授業をより分かり易く展開できる。本稿は、その教育システムの概要について報告する。

2. 本取組みの経緯

平成 25 年 2 月に行われた教育再生実行会議において、偉人や歴史上の人物を道徳教材に含めることに留意するとした提言案が纏められている。徳島県ではこの具体を平成 23 年度に既に検討し、24 年度の重要な教育施策に位置づけて、その作業を粛々と進めてきた。

徳島県においては、例えば、米国ワシントン大聖堂に肖像が残されている世界三大聖人のひとり賀川豊彦や、幕末から維新にかけて権太を探検し、日本国領の標を建立した岡本章庵など、歴史的に偉業を成した人物を多く輩出している。しかし、郷土の誇りとなるこのような人物が、日本国ではもとより、地元徳島県においてもほとんど知られていないのが実情である。それは、学校教育の中でこれまで取り上げられてこなかったことに起因する。

しかし、これら偉人の生き方や苦悩、不屈の精神などを学ぶことは、規範意識を高め、自助努力を肯

定するとともに、現在のグローバルな社会において各方面から危惧されている国の競争力の欠如を補えるのではないかと期待する声もある。

このような現状をふまえ、教育の目的を達成するため、徳島県では小学校道徳教材として県内の偉人を取り上げ、子どもたちに分かりやすく、興味深く伝えることで、自分に置き換えて考えるという動機付けを図る教材を作ることとした。

3. 教材作成の方法

小学校道徳学習教材 調査・教材化委員会の構成は、図 1 に示す通りである。

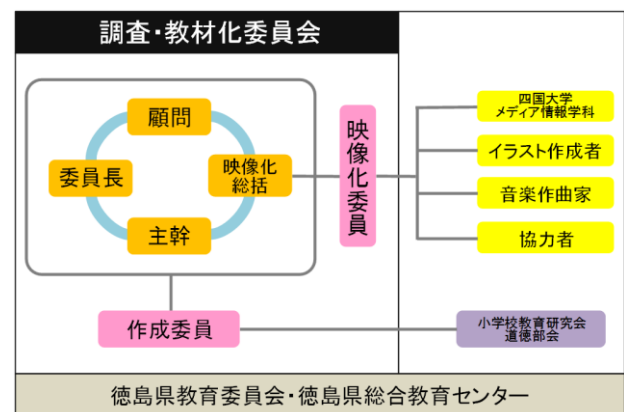


図 1 郷土（徳島）の偉人 道徳教材作成の体制

県内の歴史文化に造詣の深い 3 名と筆者ら 4 名が委員に、また小学校教育研究会道徳部会から推薦された 10 名が作成委員となり、事務局には県教育委員会と県総合教育センターからそれぞれ 2 名がメンバーとされた。作成委員は選出された偉人を調査し、教材化するストーリーと発問の構成原案を考え、委員会で精査した。そして映像化は、郷土の特徴を学び

のコンテンツとする e-Learning 教材を作成⁽¹⁾した経験のある筆者らが担当した。

教材に採り上げる偉人の選出方法は、地域や分野に偏りがないように留意し、政治的あるいは宗教的な傾向を避けて、誰もが一定評価をする人物であり、かつ道徳教材に相応しい内容となるよう気を配った。そこで、各方面に道徳教材として相応しい偉人の推薦を依頼し、集まった 39 名の中から、ブロック毎に教材化できる偉人を図 2 の通り選定した。

No.	教材名	偉人名
1	真理の追究～日本文化のルーツを求めて～	鳥居 龍蔵
2	すべての人に愛を	賀川 豊彦
3	くじけない心～日本の歴史学者～	喜田 貞吉
4	変わり織りを求めて	海部 ハナ
5	今、自分にできることを～字幕の達人～	秘田 余四郎
6	あきらめない心	岡本 韋庵
7	夢に向かって～人生は敗者復活戦ぞ！～	蔦 文也
8	高い志をもって	庄野 貞一
9	自分のよさをはぐくむ	小坂 奇石
10	文学を心の支えに	生田 花世

図 2 選定された 10 人の偉人と教材名

シナリオ構成の検討では、主題、発問、板書の内容、対象学年、映像化の方法、効果や見せ方の工夫などについて議論し、ナレーション原稿の言葉一つ一つを決定していった。しかし、残存する資料に限りがあり、写真など著作権の問題で使用できないものも多く、映像化には数多くの課題が存在した。そこで、筆者らはイラストや動画作成などで工夫をこらし、手間と時間をかけながら、ひとつずつ解決していった。

4. 授業での運用方法

本教材は 10 名の偉人それぞれが主題を持つ学習教材として 2 枚組の DVD に収めた。教師は DVD が再生できる機器を用いて、テレビやプロジェクターとスピーカーで視聴させて指導する。教師は、再生や一時停止の操作を行いながら、指導の手引を参考に、「説明」部分を映像で視聴し、一時停止してその映像に合わせた発問を行う。発問は DVD には収録しておらず、教師自らが行うことを想定している。指導の手引の「○発問」は、児童や学級の実態に合わせて発問を行うことによって指導でき、「◎発問」は中心発問であって、子どもが自分の心に問い掛け、多様な価値観が引き出せ、道徳的価値の追求や把握へ結びつけるねらいがある。

教師は指導の手引を参考にして授業展開を行うことで、教師の教育経験によらずほぼ同程度の教育効果を得られるようにしている。そして、さらに児童の興味を独自に引き出したり、偉人の心の動きを児童が想像しやすくしたりするために、偉人ごとの各

シーンにおけるイラストを、総合教育センターの教材 DB からインターネットを通じてダウンロードできるようにしている。この学習教材を活用する教育システムは図 3 の通りである。



図 3 小学校道徳教材活用のイメージ

5. 作成した教材の利用

教材 DVD と指導の手引、児童用教材冊子の 3 点は、平成 25 年 4 月に徳島県内全域の小学校に送付している。その数は、教材 DVD と指導の手引が 4～6 年生の学級数分、教材冊子は 4～6 年生の児童数分とした。

徳島県総合教育センターでは平成 25 年 5 月中旬から同下旬にかけて、徳島県内を東西南北の 4 ブロックに分け、小学校道徳教員対象の説明会を実施し、本教材を用いての模擬授業を展開した。その結果、県下全域で、いずれの小学校においても計画に位置づけて、小学 4、5、6 年生で 1 時間は実施することとしている。

6. まとめ

この教材は、「徳島県教育振興計画」の基本目標である「郷土に誇りを持ち、社会の一員として自立したたくましい人づくり」の達成を図るため、「郷土(徳島)の偉人」の生き方や功績から、子どもたちが、自分の生まれ育った郷土(徳島)を誇りに思い、自己や社会の未来への夢や目標を抱き、理想を求めて主体的に生きていこうとする心を育むことをねらいとしている。これら 10 人の郷土の偉人が、子どもたちの心に響く教材となり、郷土を誇りに思う子どもたちが増え、郷土(徳島)に貢献する人材が育つことが期待される。

児童を対象とした授業はまだ行われていないが、3 ヶ月後に徳島市内の小学校で、本教材を用いた道徳研究授業が計画されている。これら実践例を参考に、授業展開時の成果や課題についても今後継続して検討していきたいと考えている。

参考文献

- (1) 池本有里, 山本耕司: “「学びのコンテンツプロジェクト」による地域学習環境の開発”, 第 37 回教育システム情報学会全国大会, A5-2 (2012)